



学校教育目標

- ・豊かな感性を育む生徒
- ・学ぶ意欲を育む生徒
- ・逞しい心身を育む生徒

「有り難い」

苦小牧市立明野中学校長 岡 元 優

学校の周りの木々を見渡してみると葉もすっかり落ち、早いもので令和7年もあとひと月余りとなりました。学校では、2学年宿泊研修や期末テストが終わり、学期のまとめに取り組んでいるところです。そのような中、11月12日に行われた3学年生徒・保護者対象の進路説明会に大変多くの方々に参加していただきありがとうございました。令和6年度から道立高等学校入学者選抜においてもウェブ申請を導入するなど、数年前と違い出願手続きも変わってきております。当日は限られた時間の中での説明でしたので、ご不明な点などあれば3学年の担任や進路指導主事までお問い合わせください。

さて、11月13日(木)に全学年対象で「こころの授業」を開催しました。講師としてパーカッショニスト・スネアドラマーの平井義克さんが来校し、自らの娘さんを難病が原因で亡くしてしまった経験から命の大切さなどを全校生徒に伝えてくれました。普段「当たり前」と思っていることは、実は「当たり前」ではなく「有り難い」（「当たり前」の反対語が「有り難い」）ことである。楽しいことや辛いことが多くあったとしても自分が今存在していること、家族や兄弟、友だちと普段生活できていることやつながりをもつていてこと全てが「有り難い」ことであるのだと教えてくれました。最後に、パーカッションの世界大会7位入賞の腕前を披露してくれました。1時間という短い時間でしたが、みんな大変考えさせられた内容で充実した時間となりました。私自身も、職場の方々や保護者の方々、友人、家族など、大変多くの人たちと繋がり、そして、支えてもらつてきました。その支えや繋がりに対して、「有り難い」の心を再認識することができた時間でした。

昨今の技術革新の中で、便利で効率よい時代となっていました。そんな時代の中で私たちは、いろいろな意味で自然と「当たり前」の感覚が定着してしまっていることもあるのではないかと考える時があります。どんなに便利な時代になってきたとしても、人との繋がりを大切にしながら「有り難い」に気が付く目を養うことや、「有り難い」を言葉にして他者に伝える姿勢などは、いつの時代でも大切なことであると思います。感謝の心は、周りの人たちを優しい雰囲気にしてくれたり、周囲を明るくしてくれるものです。自分自身が豊かな人生を送るためにも、こうした力を育みたいものです。

平井義克さんの紹介

○大阪府出身

- ・パーカッショニスト・スネアドラマー
- ・ドラムチーム（イミンプ）主宰
- ・いずみ鼓笛隊顧問
- ・ダウン症の会「A r i g a t o」代表
- ・シニアサロン「にこ☆カフェ」代表
- ・こども食堂「j o y c a f e」代表

12月の行事予定

1日（月）3年第三者懇談②
3日（水）2年総合発表会6校時
4日（木）全校協議会
5日（金）眼科検診
8日（月）生活向上週間～12日
9日（火）校区内研修会 ※午前授業
12日（金）学活：2学期反省
16日（火）4組職員会議
18日（木）全校協議会・常任委員会
19日（金）職員会議
22日（月）学活：通知表配付
23日（火）給食学期最後、大掃除5校時
　　学習相談会（放課後）
24日（水）2学期終業式
25日（木）冬期休業～1/13
1月14日（水）3学期始業式
　　職員会議

PTA研修会があります！

- ・テーマ「子どもからのSOSの受信」
- ・ヒントをくれる人
是非ともご参加願います！
申込は右記のQRからできます。
(12/8)

スクールカウンセラー来校日について

子どもたちと保護者の悩みを受け止めます。ご相談のある場合は気兼ねなく来校してください！
○スクールカウンセラー

進路には、針路と心路が必要

3年生の皆さんとはいよいよ進路希望先が確定となります。将来を見据えて考えている人や、正直まだ心が揺れている人もいると思います。まず進路には「針路」が必要になります。これは、高校入学をゴールにせず、あくまでも通過点と捉える考え方です。自分自身の得意分野や長所に基づき自分の将来の姿をイメージしてほしいと思います。「心路」については、常に自分を支えてくれている人を大事にしながら、目標に近づくことです。どんなに優秀な人間でも、必ず人を頼り、助けてもらう場面があります。日々の生活において感謝の気持ちをもち続けることが大切です。

**AKENO
GALLERY**

【明野中学校ホームページについて】

本校では、学校だよりやさくら連絡網でお伝えできない学校行事や日常の様子等をホームページで紹介しております。是非ご覧ください。 [明野中 HP : QRコード→](#)

